

令和元年第2回（通算第117回）当別町都市計画審議会 会議要旨

1. 日 時 令和元年11月29日（金） 10:30～11:30
2. 場 所 役場 大会議室
3. 出席者 高橋会長、山田委員、古谷委員、山崎委員、高谷委員
佃委員、且見委員、秋吉委員、渡辺委員

（町及び事務局） 宮司町長

【建設水道部】 吉尾建設水道部長、種田建設課長、岩城上下水道課長

【企画部】 江口企画部長、乗木まち再生室長、高田まち再生室主幹、
菅原まち再生室主幹、西脇まち再生室主任

4. 会議要旨

- ・会長挨拶
- ・町長挨拶
- ・諮問：町長から会長へ「当別町立地適正化計画（案）について」の諮問書が手渡された。
- ・議事（審議事項）：当別町立地適正化計画（素案）について

【委 員】

パブリックコメントは総合計画とは別々に実施するのか。

【事 務 局】

別々に実施する予定である。二つの計画の整合性については事務局で調整していきたい。
立地適正化計画については、ボリュームがあるので12月中にご意見があれば事務局までいただきたい。その後、パブリックコメントを進めていきたい。

【委 員】

策定の期日に拘束力はあるのか。総合計画とリンクしてなくてよいのか。

【事 務 局】

策定の期日に拘束力はないが、年度内に策定できるようにしたい。進捗状況によっては、策定が来年度になるかもしれない。

【委 員】

総合計画の人口目標について、2060年までに2万人とあり、目標はわかるが今まで何もしていなかったわけではなくても、人口が減少している状況である。現状を考えると目標は本当に達成できるのか。町長も言っていたが、生産年齢人口が極端に減っている。2040年の人口見通しを高い数値で設定していいのか。

【事務局】

総合計画での高い目標設定については、別のテーブルで議論されるのではないかと思います。立地適正化計画の論点は人口減少した時に町民の快適さをどうやって提供していくかの方針を示す計画である。一時的に人口が減少していく中で、町民に快適に暮らしていけることについて、注力していただいたり、議論していく中にご提言をいただくことで、この計画の意味合いができてくると思う。

【委員】

国が言っているのは人口減少したときに住みやすい環境をつくり、人口が増加したときにも対応できるような計画をつくりなさいというのが計画のコンセプトである。目標人口は自治体それぞれで違うし、うちの町では総合計画で2万人と示している。できないからといって罰があるわけではないが、この住みやすいまちがどのようなものですかということ煮詰めたかたちであると思っている。北海道ではうちの町ぐらいの規模の自治体では既にコンパクトシティになっている状況である。そのような中で例えば、住民の足をどうやって確保するか等の身近な問題が想定されているのかということが問題になる。

【会長】

限界集落にはならないように、皆様から意見をいただきたいと思う。

【事務局】

ご意見等がある場合は、12月中を目途に提出をお願いしたいと思います。提出先はまち再生室まで、様式は任意で構いません。

【委員】

パブリックコメントは都市計画審議会にかけてから実施するのか。

【事務局】

委員の皆様にはパブリックコメント前の原案を見ていただいてから、パブリックコメントを実施したい。12月中にご意見をいただいて、反映し、整ったものをご覧いただける状況になったら、会議を行うか若しくは資料を郵送するかたちにしたいと思います。

以上